

株式会社トーア紡コーポレーション

令和5年12月期 決算説明資料

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

令和6年2月14日

TOABO

令和5年12月期決算 概要

売上高 **19,042百万円**（前年同期比+12.0%）

営業利益 **742百万円**（前年同期比+43.8%）

経常利益 **811百万円**（前年同期比+53.6%）

親会社株主に帰属する

当期純利益 **573百万円**（前年同期比+113.0%）



中期経営計画（令和4年度～令和6年度）の
2年目となる当期は売上高、各利益とも**目標を達成**

目次

▶ トーア紡グループの企業理念	P. 3
▶ 令和5年12月期 通期業績	P. 4 ~ 16
▶ 令和6年12月期 業績予想	P.17 ~ 20
▶ 株主還元	P.21
▶ トーア紡グループのSDGs	P.22 ~ 27
▶ トピックス	P.28
▶ 免責事項	P.29

トーア紡グループの企業理念

経営理念

【暮らしと社会の明日を紡ぐ】

当社グループは創業者の訓示である『顧客満足』『重点主義』『公平性』を脈々と受け継ぎ、人々そして暮らしの「アメニティ＝快適性・こちよさ」を追求する『暮らしと社会の明日を紡ぐ』企業グループであり続けます。

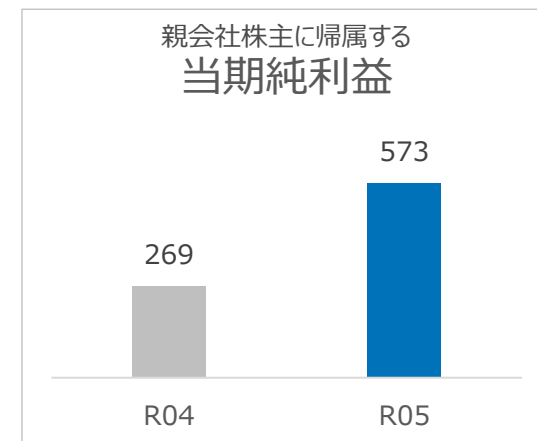
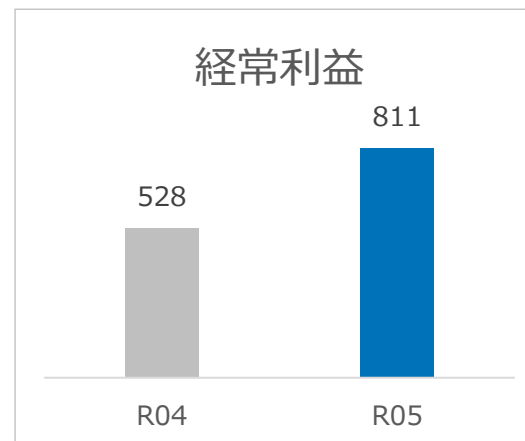
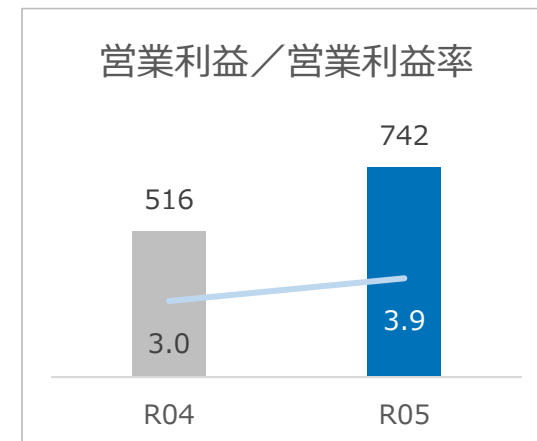
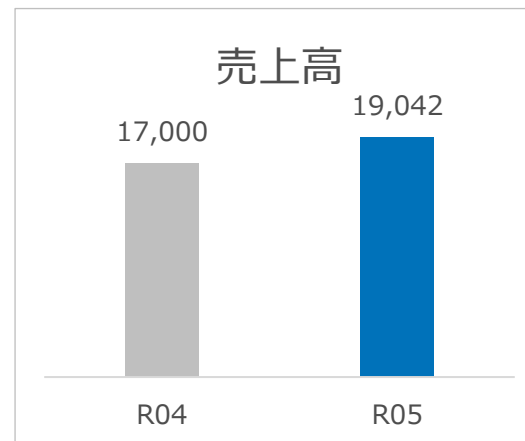
経営の基本方針

- ▶ トーア紡クオリティの追求と新しい価値の創造、環境負荷の低減に積極的に取り組むことを通じて、モノづくりの伝統を未来へつなげる。
- ▶ 時代に必要とされる新たな価値を創造することで社会に貢献し、求められる企業集団として成長、発展し続ける。
- ▶ 個性の尊重と和を重んじ、公正・公平な機会と活力ある職場環境を構築し積極的に挑戦する企業集団であり続ける。

令和5年12月期 通期業績 連結決算概要 (金額：百万円)



	実績		前年同期比 増減率
	令和4年 12月期	令和5年 12月期	
売上高	17,000	19,042	12.0%
営業利益	516	742	43.8%
営業利益率	3.0%	3.9%	0.9ポイント
経常利益	528	811	53.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	269	573	113.0%



前年同期比で増収増益を達成
繰延税金資産の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る

令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



	実績						前年同期比 増減率		
	令和4年12月期			令和5年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	5,996	209	3.5%	7,141	391	5.5%	19.1%	86.8%	2.0ポイント
インテリア 産業資材事業	6,306	67	1.1%	7,418	227	3.1%	17.6%	236.2%	2.0ポイント
エレクトロ ニクス事業	2,335	76	3.3%	1,572	△39	—	△32.7%	—	—
フアイ ンケミカル事業	1,176	93	7.9%	1,172	49	4.2%	△0.3%	△47.3%	△3.7ポイント
不動産事業	901	543	60.3%	907	528	58.2%	0.7%	△2.9%	△2.2ポイント
その他	285	△49	—	830	△29	—	191.0%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△424	—	—	△383	—	—	—	—
合計	17,000	516	3.0%	19,042	742	3.9%	12.0%	43.8%	0.9ポイント

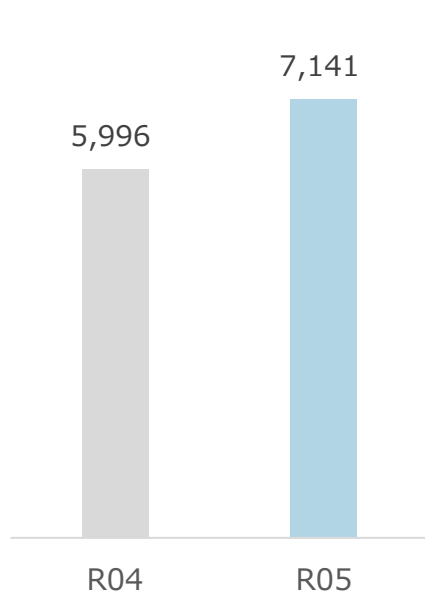
令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



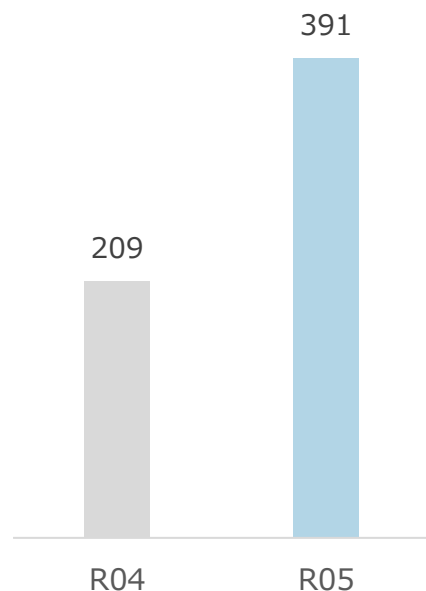
衣料事業

売上高	7,141百万円	+19.1%
営業利益	391百万円	+86.8%
営業利益率	5.5%	+2.0ポイント

売上高



営業利益



業績概要

毛糸部門

- ▶ 後半は残暑の影響で追加受注の動きが失速も、通年では増収

ユニフォーム部門

- ▶ スクール向け素材は継続的な受注増により増収、後半は加工賃等のコスト高騰により収益率が悪化の傾向
- ▶ 官公庁向けは調達数量増加により増収
- ▶ 一般企業向けは別注案件の獲得もあり微増収

テキスタイル部門

- ▶ 需要回復の影響を受け、受注が堅調に推移し増収

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶ 日本市場向けの受注回復により増収

今後の取り組み

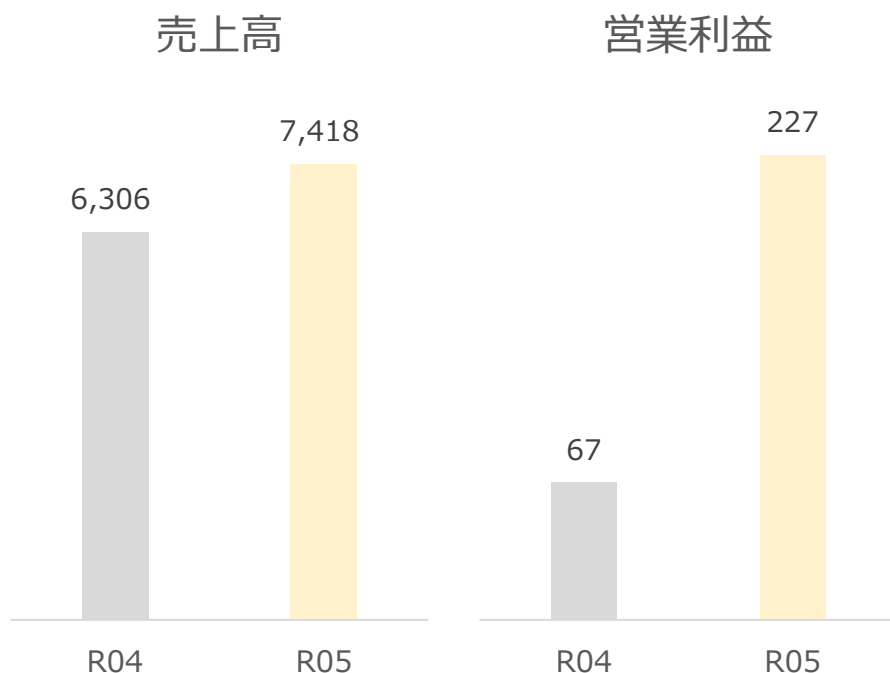
- ・ 人材確保、設備投資も含め、逼迫している国内生産体制の拡充へ注力
- ・ 原燃料等の高騰によるコスト高への対応
- ・ 海外拠点という強みを最大限活かした開発、拡販、仕組み作り

令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



インテリア産業資材事業

売上高	7,418百万円	+17.6%
営業利益	227百万円	+236.2%
営業利益率	3.1%	+2.0ポイント



業績概要

ポリプロファイバー部門

- ▶ 自動車内装材用原綿は自動車販売数に合わせ増産、カーペット用原綿は展示会、イベント需要が増え増収も、光熱費負担が増加

カーペット部門

- ▶ ホテル、オフィス、一般資材、ダストコントロール用途等全ての需要が戻り、原材料、燃料、副資材の値上げの価格転嫁も進み増収増益

特殊繊維部門

- ▶ カーボン繊維が好調で増産体制に入るも、金属繊維はふるわず減収増益

自動車内装材部門

- ▶ 半導体不足が落ち着き自動車生産台数も増え、原材料およびエネルギー代高騰の価格転嫁ができたことで増収増益

不織布部門

- ▶ 寝装は順調に推移するも、土木、緑化、防草であり物件がなく急激な原材料、燃料、資材の値上がりの影響を受け減収減益

自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶ 中国ローカル企業よりEV車向けの受注を獲得できたことで増収も急な注文が多いため、原料手配など事前準備が難しく営業損失

今後の取り組み

- ・ 国内工場、中国とも生産性向上と新規分野開拓のための設備投資を進め、効率的な稼働とコストの安定化を図る

令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



エレクトロニクス事業

売上高	1,572百万円	△32.7%
営業損失	39百万円	前年同期は 営業利益76百万円
営業利益率	—	前年同期は 営業利益率3.3%

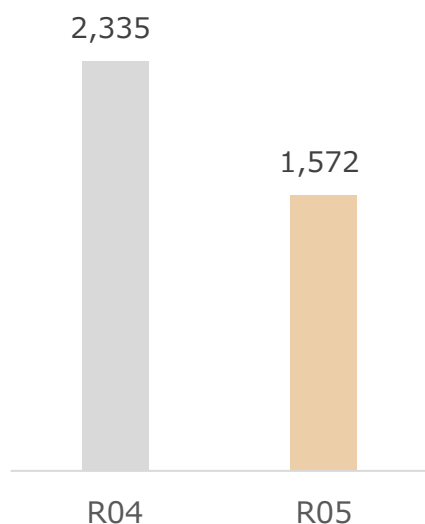
業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、取引先の在庫調整が予想以上に長引き、販売数量が減少
- ▶ 電子部品の販売においても産業機器、工作機械、家電分野で得意先の在庫調整により販売数量が低迷し、減収

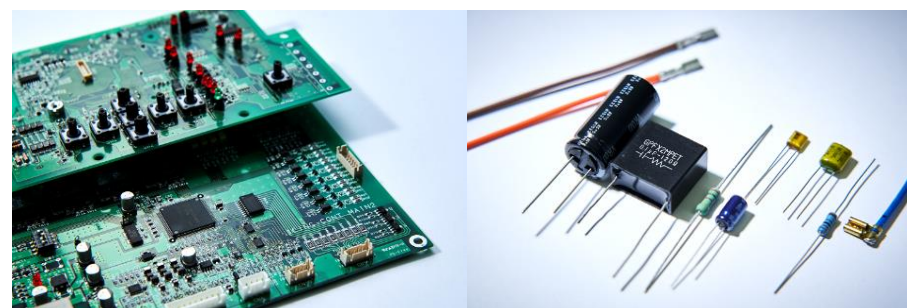
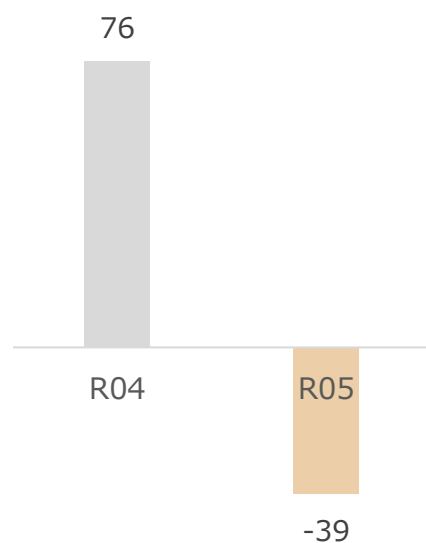
今後の取り組み

- 電子部品の調整局面を脱し第3四半期以降に回復基調となる見通し
- 既存商品は生産効率を上げてコスト競争力を高める
- 車載用の電子部品の販売や、ICタグの開発販売などの新規分野に挑戦

売上高



営業利益



令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

ファインケミカル事業

売上高	1,172百万円	△0.3%
営業利益	49百万円	△47.3%
営業利益率	4.2%	△3.7ポイント

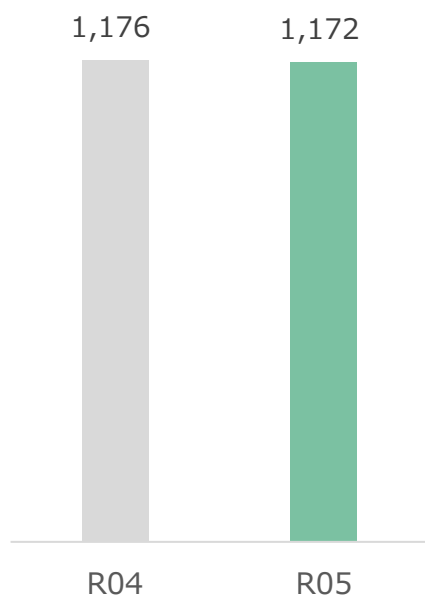
業績概要

- ▶ 電子材料分野ではスマートフォンやパソコン向け機能性材料が在庫調整から抜け出せず低調
- ▶ ヘルスケア分野は、ジェネリック医薬品向けが競合品の台頭で受注を落とし収益低下

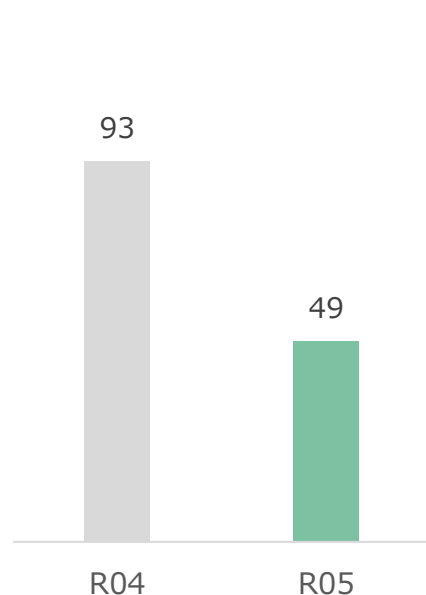
今後の取り組み

- ・ 中長期的に成長分野である電子材料向けの拡販と生産能力増強に鋭意取り組む
- ・ 新規材料のプロセス開発を加速し、新規顧客の獲得による収益力向上に注力

売上高



営業利益



令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



不動産事業

売上高	907百万円	+0.7%
営業利益	528百万円	△2.9%
営業利益率	58.2%	△2.2ポイント

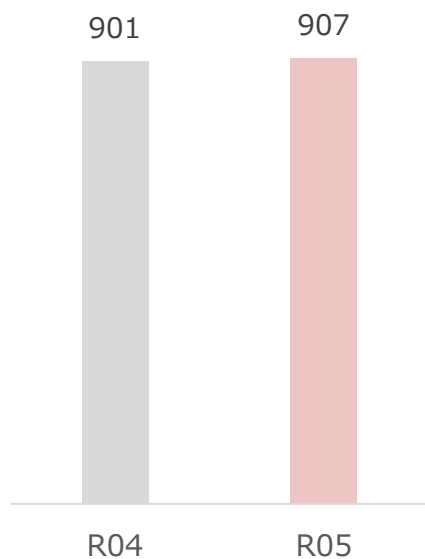
業績概要

- ▶ 一部テナント撤退の影響を受けるも前年並みの売上を確保
- ▶ 販売費の増加により減益

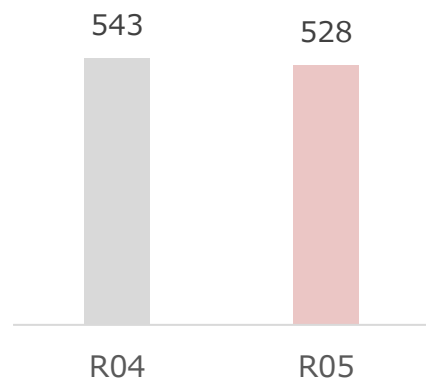
今後の取り組み

- ・ 商業施設、オフィスビル等の賃貸物件の付加価値を高め、稼働率の向上を図り、安定収益の確保に努める
- ・ 保有森林の維持管理などSDGsを意識した資産の活用を促進し、環境負荷低減へ貢献

売上高



営業利益



令和5年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

その他の事業		
売上高	830百万円	+191.0%
営業損失	29百万円	前年同期は 営業損失49百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

業績概要

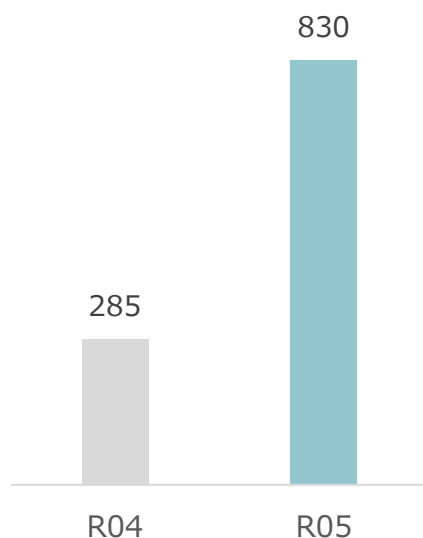
自動車教習事業

- ▶ 高校生の入校は堅調だったものの、年間を通し大学生の入校状況が低調に推移したことが響き減収

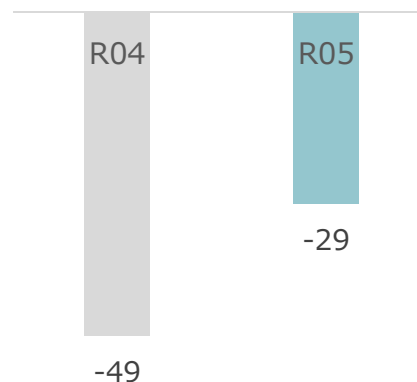
ヘルスケア事業

- ▶ ONU商品の販売は中国向けが低調
- ▶ ムサシノ製薬の主力商品であるフタアミンクリームの販売が計画を上回る
- ▶ 第2四半期会計期間よりムサシノ製薬の損益計算書を連結開始したことにより売上は増加も、連結開始時における会計処理により売上原価が増加したこともあり営業損失

売上高



営業利益



令和5年12月期 通期業績 中期経営計画との比較

TOABO

(金額：百万円)

	計画	実績		計画	業績予想
	令和5年 12月期	令和5年 12月期	達成率	令和6年 12月期	令和6年 12月期
売上高	16,500	19,042	115.4%	17,000	18,300
営業利益	550	742	134.9%	630	650
経常利益	480	811	169.0%	550	600
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	573	204.6%	330	350

中期経営計画（令和4年～令和6年）2年目の目標を達成

令和5年12月期 通期業績 中期経営計画との比較

(金額：百万円)

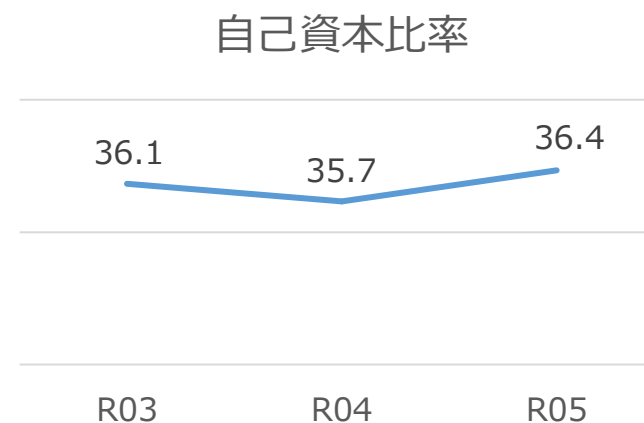


	中期経営計画			実績			増減		
	令和5年12月期			令和5年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	5,580	150	2.7%	7,141	391	5.5%	1,561	241	2.8ポイント
インテリア 産業資材事業	6,300	180	2.9%	7,418	227	3.1%	1,118	47	0.2ポイント
エレクトロ ニクス事業	2,130	55	2.6%	1,572	△39	—	△558	△94	—
ファイン ケミカル事業	1,200	95	7.9%	1,172	49	4.2%	△28	△46	△3.7ポイント
不動産事業	910	545	59.9%	907	528	58.2%	△3	△17	△1.7ポイント
その他	380	25	6.6%	830	△29	—	450	△54	—
調整額 (販管費等)	—	△500	—	—	△383	—	—	117	—
合計	16,500	550	3.3%	19,042	742	3.9%	2,542	192	0.6ポイント

令和5年12月期 通期業績 財務主要指標 (金額：百万円)



	令和3年12月期 実績	令和4年12月期 実績	令和5年12月期 実績
総資産	31,488	32,911	34,455
純資産	11,368	11,746	12,540
有利子負債	11,778	12,250	12,902
ネットD/Eレシオ	81.0%	83.3%	83.2%
自己資本比率	36.1%	35.7%	36.4%



令和5年12月期 通期業績 連結貸借対照表サマリー

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和4年12月	令和5年12月	増減
流動資産	10,231	11,102	870
固定資産	22,679	23,352	672
資産合計	32,911	34,455	1,543
流動負債	8,533	9,126	592
固定負債	12,631	12,789	157
負債合計	21,164	21,915	750
株主資本	10,652	11,127	475
その他包括利益累計額	1,085	1,403	317
非支配株主持分	8	9	0
純資産合計	11,746	12,540	793
負債・純資産合計	32,911	34,455	1,543
(自己資本比率)	35.7%	36.4%	0.7ポイント

令和5年12月期 通期業績 連結キャッシュフロー サマリー

TOABO

(金額：百万円)

	令和4年12月累計	令和5年12月累計	
純利益	468	512	<u>営業キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 仕入債務の増加 71百万円 売上債権の減少 153百万円 主な減少要因： たな卸資産の増加 757百万円
減価償却費	373	397	
運転資金	△201	△532	
その他	△148	36	
営業CF	492	414	
設備投資	△998	△574	<u>投資キャッシュフロー</u> 主な減少要因： 有形固定資産の取得による支出 558百万円
その他	△132	△22	
投資CF	△1,130	△597	
長・短期借入金増減	472	334	<u>財務キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 長期借入による収入 4,050百万円 短期借入金の純増加額 450百万円 主な減少要因： 長期借入金の返済による支出 4,163百万円
配当金	△133	△97	
その他	△3	△7	
財務CF	336	230	
CF増減	△275	54	

令和6年12月期 セグメント別業績予想 (金額：百万円)



	実績			業績予想			前年同期比 増減		
	令和5年12月期			令和6年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	7,141	391	5.5%	5,740	180	3.1%	△1,401	△211	△2.4ポイント
インテリア 産業資材事業	7,418	227	3.1%	7,180	215	3.0%	△238	△12	△0.1ポイント
エレクトロ ニクス事業	1,572	△39	—	1,790	30	1.7%	218	69	—
ファイン ケミカル事業	1,172	49	4.2%	1,170	65	5.6%	△2	16	1.4ポイント
不動産事業	907	528	58.2%	930	510	54.8%	23	△18	△3.4ポイント
その他	830	△29	—	1,490	15	1.0%	660	44	—
調整額 (販管費等)	—	△383	—	—	△365	—	—	18	—
合計	19,042	742	3.9%	18,300	650	3.6%	△742	△92	△0.3ポイント

令和6年12月期 セグメント別業績予想 前年同期比 増減要因

	前年同期比	主な増減要因
衣料事業	売上高 Δ 1,401 百万円 ▼ 営業利益 Δ 211 百万円 ▼	市場の流通在庫が増加傾向となり受注減 コスト上昇による収益性の低下
インテリア 産業資材事業	売上高 Δ 238 百万円 ▼ 営業利益 Δ 12 百万円 ▼	自動車内装材、カーペット等、各市場は急回復から緩やかな減速基調 コスト上昇による収益性の低下
エレクトロニクス 事業	売上高 +218 百万円 ▲ 営業利益 +69 百万円 ▲	在庫調整で受注制限の主力商品（電動工具向けコントローラー）が徐々に回復 新規分野（車載用電子部品、ICタグ等）の拡充
ファインケミカル 事業	売上高 Δ 2 百万円 - 営業利益 +16 百万円 ▲	電子材料分野は在庫調整が長期化 新規材料のプロセス開発の加速と拡充による収益性向上
不動産事業	売上高 +23 百万円 ▲ 営業利益 Δ 18 百万円 ▼	安定的な収益確保：計画的な設備更新による賃貸物件の付加価値向上 販売費の増加
その他	売上高 +660 百万円 ▲ 営業利益 +44 百万円 ▲	ヘルスケア事業：ムサシノ製薬との通期連結寄与 新規事業による売上増
調整額 (販管費等)	売上高 — 営業利益 +18 百万円 ▲	一般管理費の低減
合計	売上高 Δ 742 百万円 ▼ 営業利益 Δ 92 百万円 ▼	前年好調に推移した衣料事業の受注が前期比で低調

令和6年12月期 セグメント別業績予想 中期経営計画との比較 (金額：百万円)

	中期経営計画			業績予想			増減		
	令和6年12月期			令和6年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	5,730	170	3.0%	5,740	180	3.1%	10	10	0.2ポイント
インテリア 産業資材事業	6,410	200	3.1%	7,180	215	3.0%	770	15	△0.1ポイント
エレクトロ ニクス事業	2,280	65	2.9%	1,790	30	1.7%	△490	△35	△1.2ポイント
フアイ ンケミカル事業	1,280	110	8.6%	1,170	65	5.6%	△110	△45	△3.0ポイント
不動産事業	910	550	60.4%	930	510	54.8%	20	△40	△5.6ポイント
その他	390	35	9.0%	1,490	15	1.0%	1,100	△20	△8.0ポイント
調整額 (販管費等)	—	△500	—	—	△365	—	—	135	—
合計	17,000	630	3.7%	18,300	650	3.6%	1,300	20	△0.2ポイント

通期業績 中期経営計画との比較 (金額：百万円)



		令和3年 12月期	令和4年 12月期		令和5年 12月期		令和6年 12月期	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	予想
衣料事業	売上高	5,157	5,350	5,996	5,580	7,141	5,730	5,740
	営業利益	102	120	209	150	391	170	180
インテリア 産業資材事業	売上高	5,863	6,250	6,306	6,300	7,418	6,410	7,180
	営業利益	90	160	67	180	227	200	215
エレクトロ ニクス事業	売上高	2,298	2,120	2,335	2,130	1,572	2,280	1,790
	営業利益	46	52	76	55	△39	65	30
ファイ ンケミカル事業	売上高	1,022	1,000	1,176	1,200	1,172	1,280	1,170
	営業利益	44	70	93	95	49	110	65
不動産事業	売上高	890	900	901	910	907	910	930
	営業利益	544	525	543	545	528	550	510
そ の 他	売上高	300	380	285	380	830	390	1,490
	営業利益	△38	3	△49	25	△29	35	15
調 整 額 (販 管 費 等)	営業利益	△430	△480	△424	△500	△383	△500	△365
合 計	売上高	15,532	16,000	17,000	16,500	19,042	17,000	18,300
	営業利益	358	450	516	550	742	630	650

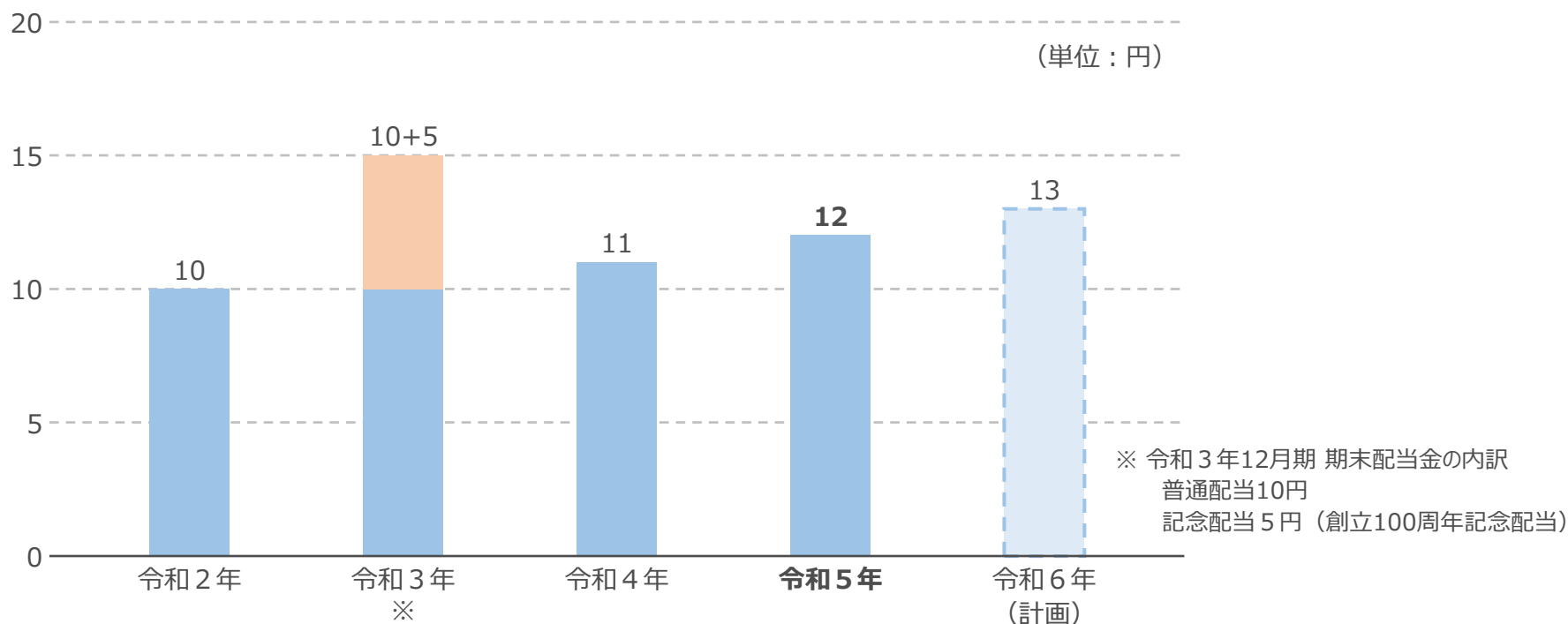
株主還元

考え方

- ▶ 成長投資、財務状況とキャッシュフローなどのバランスを総合的に勘案する
- ▶ 安定的かつ継続的に実施する

1株あたり配当

令和5年12月期は、**中期経営計画通り1株あたり12円**の普通配当を実施



環境配慮の仕組みづくり

GREEN WOOL

VALUE CHAIN

～CSR、環境負荷低減と経済性の実現～

TOABO SOTO:

ケケン



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、SDGsの達成に向けて「GREENWOOLバリューチェーン」を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードの確立を目指し、構築、運用を進めております。

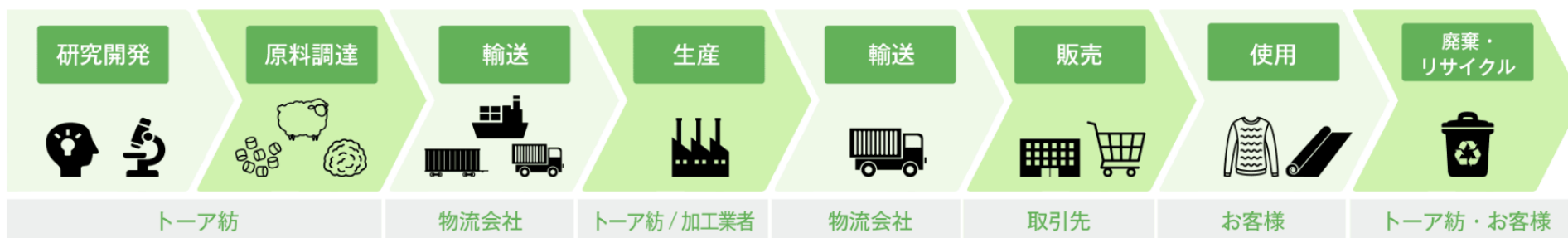
現在、尾州の協力工場などを中心に加盟が進んでおり、ケケン試験認証センターの支援を受けながらCSRの評価を実施するとともに、各サプライチェーンの使用エネルギー等を調査し、CO₂排出量でベースとなる基準を策定し、目標を掲げられるように取り組んでおります。

2023年度取り組み状況

- ▶ CO₂排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中 (CSR、品質、トレーサビリティ、環境負荷の定量化)
- ▶ ブランド化の推進中 (製品へのラベル貼付等)
- ▶ 環境配慮取組アイコンを作成



二酸化炭素総排出量算定への取り組み



自社+サプライチェーンでのCO₂総排出量の見える化

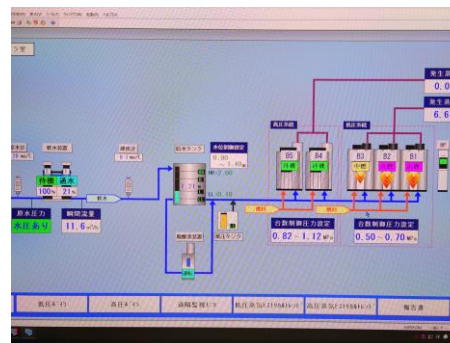
総排出量の削減目標と計画を策定するため算定を開始し、見える化に取り組み、2021~2022年のスコープ1、2、3各データを収集し目標値を検討していく中で、スコープ1、2の比重が高い生産部分の排出量削減への取り組みを優先すべき課題と定めた

環境にやさしい企業活動

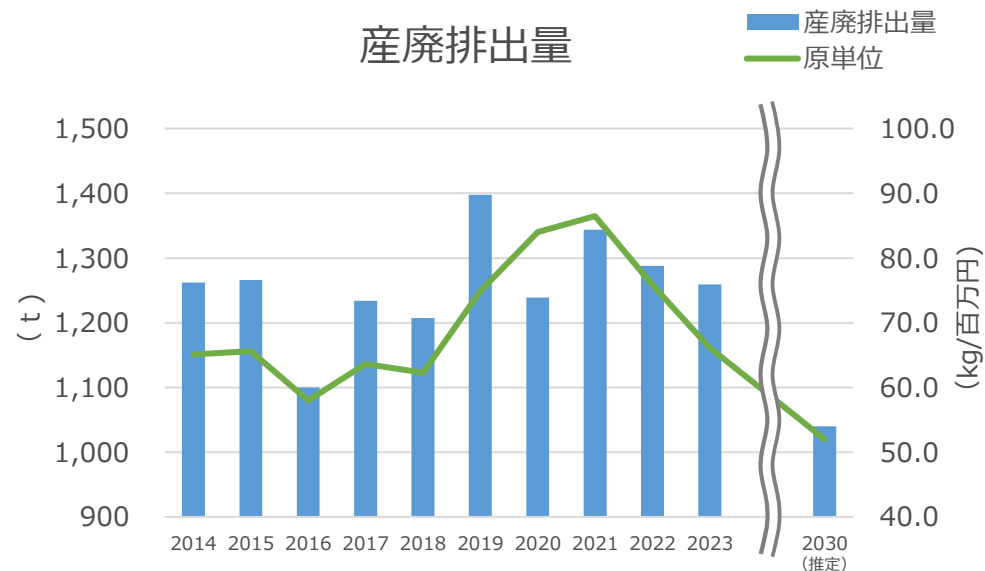
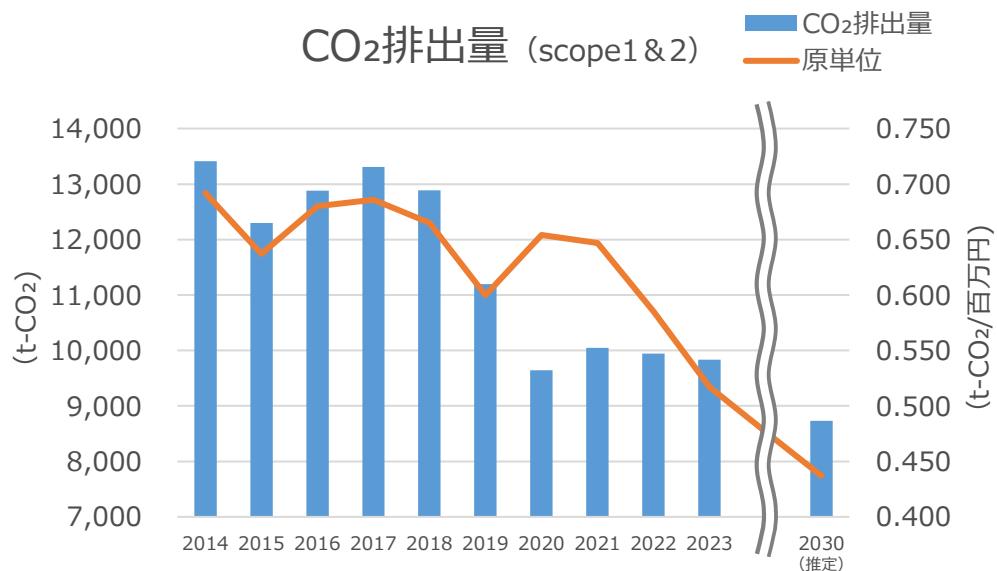
2023年2月 都市ガスによる高効率ボイラー設備へ移行し運用を開始

(トーア紡マテリアル(株) 四日市工場)

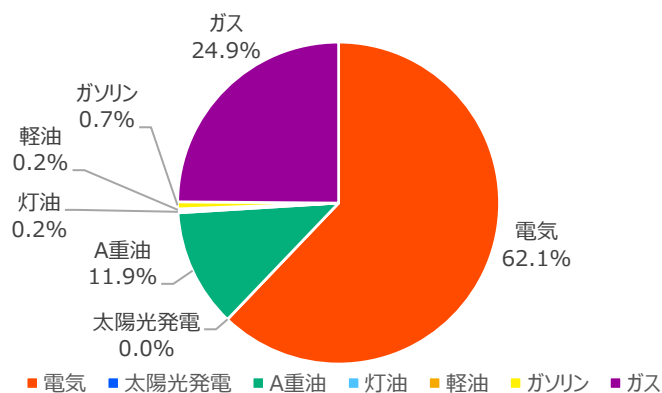
- ▶ 二酸化炭素排出量、煤塵削減など環境負荷低減に貢献
⇒ 2022年度比 二酸化炭素排出量 29.2%削減 煤塵排出量 100%削減
- ▶ 不要となった重油ボイラー設備の撤去
⇒ 煙突、燃料タンク、建屋 (災害時のリスク低減と環境負荷低減活動のため)



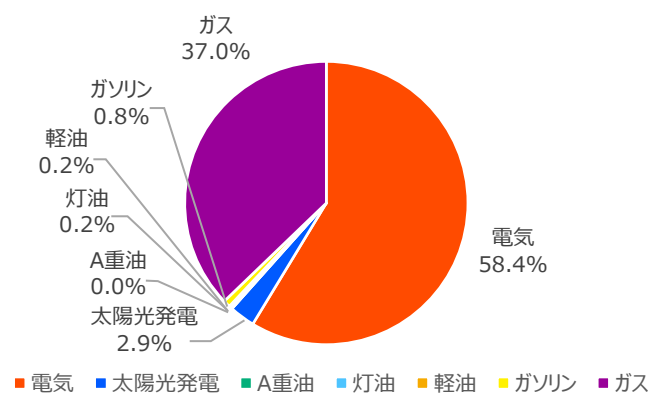
トーア紡グループのSDGs



2023年エネルギー使用比率



2030年エネルギー使用比率 (目標)



- ・ 効率的な生産体制の確立
- ・ 省エネタイプ設備への移行 (LED、ボイラー等) による削減

トア紡グループのSDGs

循環型社会の実現

素材のリサイクル・アップサイクル

衣料回収型リサイクルシステム

2023年11月7日、東亜紡織(株)と(株)AOKIの取り組み「AOKI ウール・エコ・サイクル®」プロジェクトより、回収したスーツや礼服などのウール製品をリサイクルした「ウールエコシューズ」が発売。

1996年に日本で初めて不要になった衣類を回収する「AOKI ウール・エコ・サイクル®」プロジェクトがスタート。回収した衣類を反毛し、マット、住宅用断熱材、車の吸音材といった産業資材にリサイクルしてきましたが、今回新たに「一般消費者向け商品」という形に生まれ変わらせることに成功。

「ウールエコシューズ」のアップパー素材として、リサイクル素材を開発しました。

トア紡グループのSDGs



地域貢献 イベントへの参加

▶「私たちのSDGs2023 ～繊維製品の循環をめざして～Part1」

(2023年8月23日 京都文化博物館)

⇒「学生によるファッションショー廃材コレクション」の
舞台床面マットとしてウールエコ反毛フェルトを提供



▶「私たちのSDGs2023 ～繊維製品の循環をめざして～Part2」

(2023年8月29日～9月4日 なんばマルイ)

⇒ 大学・企業によるSDGs関連の展示として

「リサイクル炭素繊維を原料とした連続繊維強化複合材料部材の開発」と

「廃棄衣料を原料とした不織布の新規用途開発」を展示

また、上記展示物の紹介とSDGs製品の出口の難しさを
テーマにトークショーを実施



TOABO 株式会社トア紡コーポレーション

リサイクル炭素繊維を原料とした
連続繊維強化複合材料部材の開発

トア紡コーポレーションでは、
岐阜大学、三豊大学、三豊工業研究所と共に産学で、
炭素繊維強化プラスチック原料からリサイクルされた、
知識とノウハウを蓄積し、連続繊維強化複合材料部材の開発、
部材化までの開発を行っています。

APARELブランドの規格外品や、
事業からの回収衣料、
企業の旧ユニフォーム等の
不織布をバライシ、
綿の繊維に吸着、
下着への再加工を行う。
APARELブランドや企業へ
再加工不織布を使用した小物や
オフィス用品等の新規用途の
開発、提案を行っています。

廃棄衣料を原料とした不織布の
新規用途開発

「無駄に『繊維』」 株式会社トア紡

▶ 株主優待制度を開始

目的

株主の皆様の日頃のご支援とご愛顧に感謝するとともに、制度を通じて当社グループに対するご理解をより深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくため

対象となる株主様

毎年12月31日現在、同一の株主番号で当社株主名簿に1年以上継続して記載または記録されている当社株式1,000株（10単位）以上を保有されている株主様

開始時期

令和6年4月より対象となる株主様に「株主優待のご案内」の発送を開始

内容

当社オリジナルカタログに掲載の自社グループ商品（5,000～6,000円相当）またはグルメ商品（2,000円相当）からいずれか1点の優待品を贈呈

《ご参考》
商品一例

自社商品 ヘルスケア商品（6,000円相当）



または



自社商品 「たがやす」焼き菓子詰め合わせ（5,000円相当）



※ 画像はイメージです。
実際の商品とは異なる
場合がございます。

※その他詳細は弊社コーポレートサイト内 IR News (<https://www.toabo.co.jp/ir/release/>) をご覧ください。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。